



労働者の健康の状況 (令和 7 年版)

長野労働局労働基準部
健康安全課

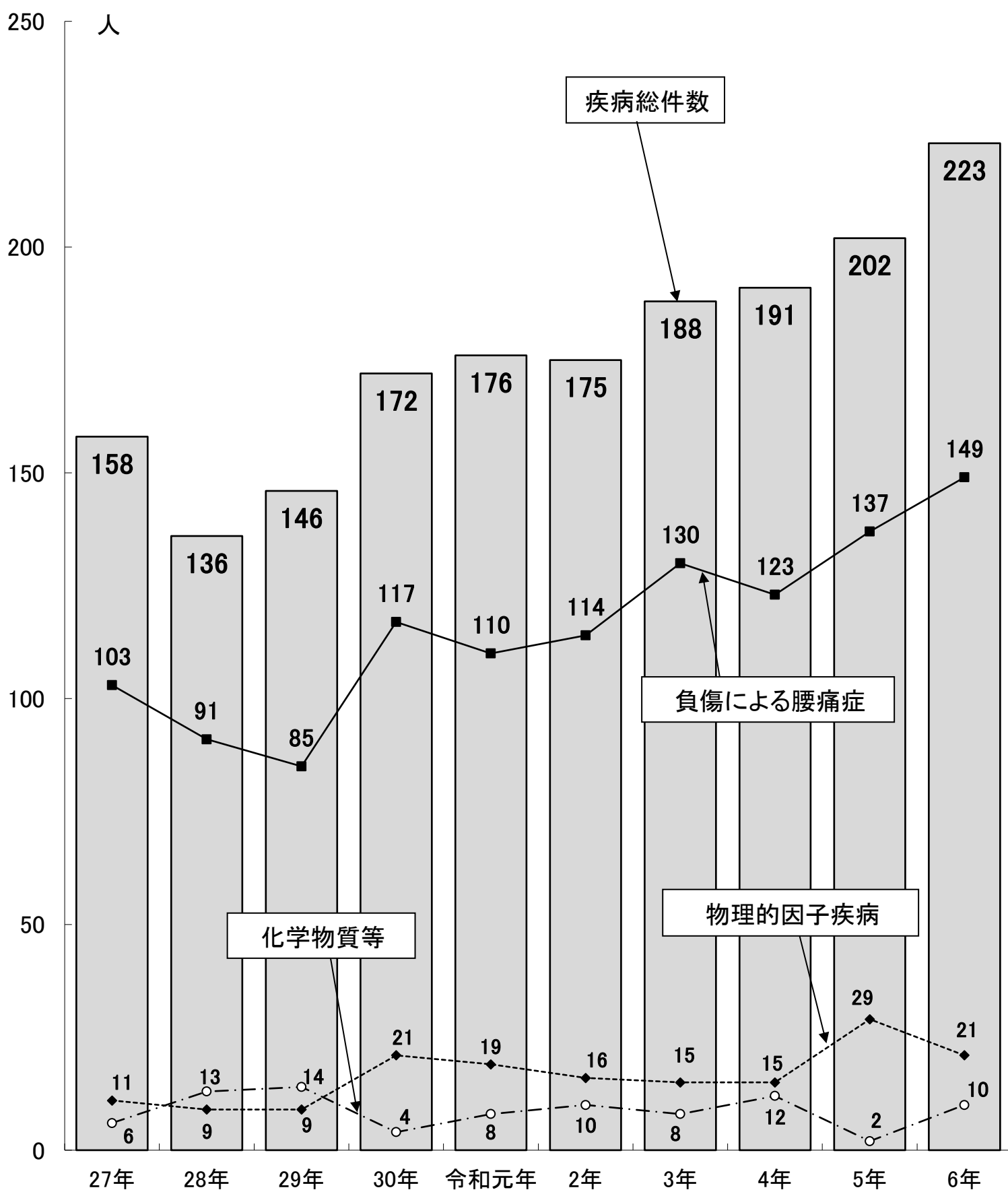
目 次

第1図	業務上疾病の推移（過去10年間）	1
第1表	産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移	2
第2表	業務上疾病発生状況（令和6年）	3
第2図	健康診断結果（有所見率）の推移	4
第3表	一般定期健康診断実施結果（令和5年・令和6年）	5
第4表－1	令和6年 一般定期健康診断項目別有所見率（その1）	6
第4表－2	令和6年 一般定期健康診断項目別有所見率（その2）	7
第5表	特殊健康診断実施状況の推移（過去30年間）	8
第6表－1	特殊健康診断実施結果（令和6年）（その1）	9
第6表－2	特殊健康診断実施結果（令和6年）（その2）	10
第7表	健康管理手帳（労働安全衛生法関係）新規交付状況	10
第8表	じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分 決定状況の推移（過去30年間）	11
第9表	令和6年 心理的な負担の程度を把握するための検査 （いわゆるストレスチェック）実施状況	12
第10表・第3図	長野県におけるストレスチェック 集団分析実施事業場割合の推移	12
第11表	令和6年 工業中毒等特殊疾病事例	13
第12表・第4図	長野県の熱中症による労働災害発生状況	14
第13表	長野県の熱中症による災害事例	15

※ 第2図及び第3表から第6表までは、事業者から所轄の労働基準監督署に提出された健康診断結果報告書を集計したものである（厚生労働省確定値の内数）。

第1図

業務上疾病の推移(過去10年間)



(注) 1. 各年の業務上疾病の総数は、「休業4日以上死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」及び「じん肺症及びじん肺合併症」の合計である。
 なお、新型コロナウイルス感染所のり患によるものを除いている。
 2. 資料出所や定義等の注釈は第2表を参照。

第1表

産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移

年			27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	
総 数			② 158	② 136	② 146	① 172	③ 176	① 175	188	② 191	③ 202	① 223	
産 業 別	製造業		① 47	34	① 42	45	38	61	48	47	① 54	① 55	
	鉱業		1	2			1				1		
	建設業		13	16	13	9	8	8	18	① 20	21	11	
	運輸交通業		① 11	7	① 11	18	7	17	22	16	22	24	
	その他の産業		86	② 77	80	① 100	③ 122	① 89	100	① 108	② 104	133	
疾 病 分 類 別	負傷に起因する疾病 ()内は腰痛で内数		(103) 119	(91) 104	(85) 111	(117) 135	(110) 123	(114) 128	(130) 161	(123) 153	(137) 157	(149) 172	
	物理的因子による疾病 ()内は熱中症で内数		(5) ① 11	(7) 9	(2) 9	(19) ① 21	(12) ① 19	(10) 16	(9) 15	(11) ① 15	(16) ① 29	(13) 21	
	身 体 に 過 度 の 負 担 の 起 因 す る 疾 病 か	重激業務による 筋肉等の疾患 (腰痛を除く)				1				1			
		振動障害							1				
		頸肩腕症候群	1	1	3	4	5	4	1	3	3	7	
		その他	3			1	3	1		3	4	1	
		計	4	1	3	6	8	5	2	7	7	8	
	酸素欠乏症												
	化 学 物 質 等 に よ る 疾 病	化 学 物 質	特定化学物質	2	1	3			1		5		2
			有機溶剤		① 2	2	1		1				2
			上記以外	1	6	6	3	8	7	5	7	2	3
		硫化水素中毒				1				1			
		一酸化炭素中毒		3	4	① 2				2			1
		その他							1				2
		計		6	① 13	① 14	4	8	10	8	12	2	10
		じん肺症及びじん肺合併症		4	5	4	4	2	1	1	2	2	2
	病原体による疾病		13	1	2	1	9	12	1	1	2	4	
	その他		① 1	① 3	① 3	1	① 7	① 3		1	① 3	6	

(注) 1. 各年の業務上疾病の総数は、「休業4日以上¹の死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」及び「じん肺症及びじん肺合併症」の合計である。
 なお、新型コロナウイルス感染所のり患によるものを除いている。
 2. 丸数字は死者数で内数である。

第2表

業務上疾病発生状況（令和6年）

業 種		疾病分類	負傷に起因する疾病	物 理 的 因 子による疾病						作 業 態 様による疾病						じん肺症及びじん肺合併症	病原体による疾病	が ん			その他の疾病	合 計	構 成 比	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
				有害光線による疾病	電離放射線による疾病	異常気圧下における疾病	異常温度条件による疾病	左記のうち熱中症（内数）	騒音による耳の疾病	その他	重激業務による筋肉等の疾患（腰痛を除く）	振動障害	頸肩腕症候群	その他	酸素欠乏症			電離放射線	化学物質	その他							
製造業	食料品製造業	12 (10)				3	1					1		1		1				18	8.1%	13	10	12	29		
	繊維・繊維製品製造業	1																		1	0.4%		1				
	木材・木製品家具・装備品製造業																					1	2	1	1		
	パルプ・紙紙加工品印刷・製本業	1 (1)												1						2	0.9%		1	1	1		
	化学工業	2 (2)						1												3	1.3%	5	4	2	1		
	窯業・土石製品製造業	① 3 (2)													1				① 4	1.8%	2		3	1			
	鉄鋼・非鉄金属製造業					2	1						1							3	1.3%	7	2	2	2		
	金属製品製造業	4 (2)											1		1					6	2.7%	6	12	7	7		
	一般・電気・輸送用機械工業	11 (9)											2							13	5.8%	18	15	18	16		
	電気・ガス・水道業								1											1	0.4%	1		1			
その他の製造業	2 (2)				2														4	1.8%	1		1	3			
小計		36 (28)				7	2	1	1			5		3	1	1				55	24.7%	① 54	47	48	61		
鉱業																						1					
建設業		6 (5)				3	3							1	1					11	4.9%	① 21	① 20	18	8		
運輸交通業		22 (22)				1	1												1	24	10.8%	22	16	22	17		
うち道路貨物運送業		20 (20)				1	1												1	22	9.9%	17	13	18	13		
貨物取扱業																						2					
農林水産業		2				1	1							1					1	5	2.2%	① 5	3	3	2		
商業・金融・広告業		31 (27)												1					3	35	15.7%	36	① 38	36	① 37		
保健衛生業		56 (53)							1			1	1	1		3			1	64	28.7%	39	43	38	33		
接客娯楽業		5 (4)																		5	2.2%	11	12	12	10		
清掃・と畜業		6 (5)				1	1					1		1						9	4.0%	2	6	7	2		
その他の事業		8 (5)				5	5							2						15	6.7%	① 9	6	4	5		
合 計		① 172 (149)				18	13	1	2			7	1	10	2	4			6	① 223	100.0%	③ 202	② 191	188	① 175		
令和5年		① 157 (137)	1			① 27	① 16		1			3	4	2	2	2			① 3	③ 202							
令和4年		① 153 (123)				① 12	① 11	3		1		3	3	12	2	1			1	② 191							
令和3年		161 (130)				14	9	1			1	1		8	1	1				188							
令和2年		128 (114)				16	10					4	1	10	1	12			① 3	① 175							

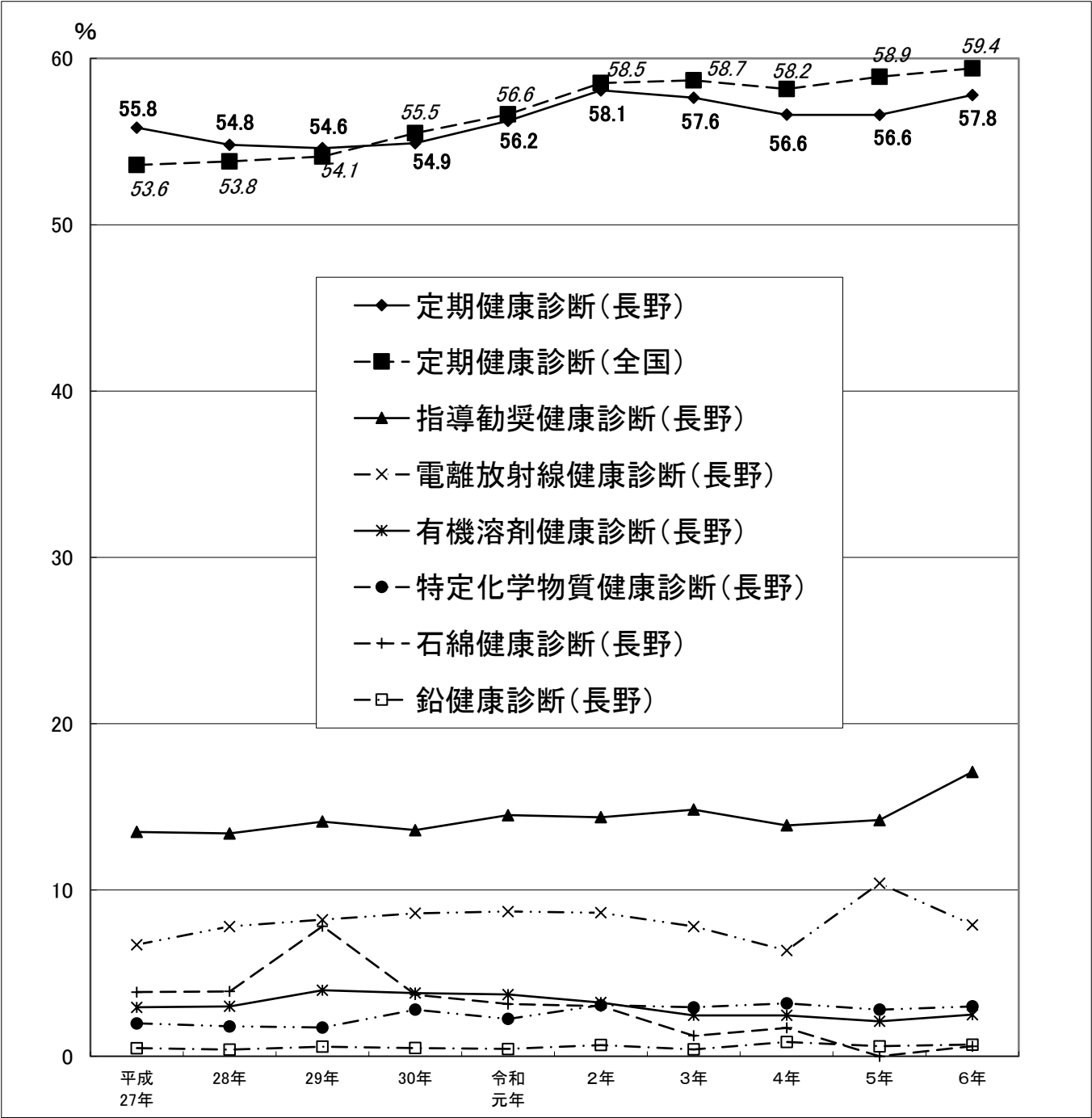
資料：労働者死傷病報告（休業4日以上）の死傷。厚生労働省集計確定値の内数（各翌年4月集計）。ただし、「じん肺症及びじん肺合併症」を除く。

（注） 1 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。
2 丸数字は死亡者数で内数である。
3 「負傷に起因する疾病」欄内のカッコ書き数字は腰痛の件数で内数である。

4 「がん」の「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。
5 「じん肺及びじん肺合併症」は長野労働局長が、じん肺管理区分が管理4、又は、管理2若しくは管理3で合併症あり、と決定した者の数である（決定した年に計上）。
6 令和2年から令和5年の被災者数について、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除いている。

第2図

健康診断結果(有所見率)の推移



健康診断種別	年	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
定期健康診断(長野)		55.8	54.8	54.6	54.9	56.2	58.1	57.6	56.6	56.6	57.8
定期健康診断(全国)		53.6	53.8	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7	58.2	58.9	59.4
有機溶剤健康診断(長野)		2.9	3.0	4.0	3.8	3.7	3.2	2.5	2.5	2.1	2.5
鉛健康診断(長野)		0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.7	0.4	0.9	0.6	0.7
電離放射線健康診断(長野)		6.7	7.8	8.2	8.6	8.7	8.6	7.8	6.4	10.4	7.9
特定化学物質健康診断(長野)		2.0	1.8	1.7	2.8	2.3	3.1	2.9	3.2	2.8	3.0
石綿健康診断(長野)		3.9	3.9	7.8	3.7	3.1	3.0	1.2	1.7	0.0	0.6
指導勧奨健康診断(長野)		13.5	13.4	14.1	13.6	14.5	14.4	14.8	13.9	14.2	17.1

注：除染等電離放射線健康診断、じん肺健康診断の実施結果については省略している。

第3表

一般定期健康診断実施結果(令和5年・令和6年)

業 種	区 分	実施事業場数		受診者数 (人) (A)		有所見者数 (人) (B)		有所見率 (%) (B/A×100)	
		5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年
01 製造業									
	食品製造	133	133	12,729	12,471	7,187	7,356	56.5	59.0
	繊維工業	1	1	110	97	53	56	48.2	57.7
	衣服繊維	4	4	325	309	237	214	72.9	69.3
	木材木製	4	4	288	261	214	182	74.3	69.7
	家具装備	3	3	177	232	109	145	61.6	62.5
	パルプ等	9	11	741	905	447	498	60.3	55.0
	印刷製本	19	20	1,251	1,318	730	787	58.4	59.7
	化学工業	64	66	4,506	4,646	2,491	2,500	55.3	53.8
	窯業土石	11	13	1,135	1,353	776	842	68.4	62.2
	鉄鋼業	1	2	227	509	133	338	58.6	66.4
	非鉄金属	14	16	1,366	1,434	743	790	54.4	55.1
	金属製品	105	107	6,925	7,385	3,822	4,094	55.2	55.4
	一般機器	181	177	28,017	27,575	16,034	16,114	57.2	58.4
	電気機器	246	249	37,190	37,869	20,842	21,723	56.0	57.4
	輸送機械	73	72	9,079	8,695	5,163	5,368	56.9	61.7
	電気ガス	13	17	1,371	1,758	1,034	1,179	75.4	67.1
	他の製造	36	31	1,782	1,602	1,149	1,023	64.5	63.9
	小計	917	926	107,219	108,419	61,164	63,209	57.0	58.3
02 鉱業									
	土石採取	1	0	7	0	0	0	0.0	0.0
03 建設業									
	土木工事	19	20	1,620	1,840	999	1,219	61.7	66.3
	建築工事	37	28	3,356	2,784	1,949	1,738	58.1	62.4
	他の建設	15	18	1,213	1,397	730	816	60.2	58.4
	小計	71	66	6,189	6,021	3,678	3,773	59.4	62.7
04 運輸交通									
	鉄道等	20	21	1,694	1,773	493	501	29.1	28.3
	道路旅客	22	22	1,536	1,385	868	856	56.5	61.8
	道路貨物	99	104	6,320	6,849	3,207	3,652	50.7	53.3
	他の運輸	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	小計	141	147	9,550	10,007	4,568	5,009	47.8	50.1
05 貨物取扱									
	陸上貨物	4	3	230	270	157	193	68.3	71.5
01～05 中計		1,134	1,142	123,195	124,717	69,570	72,184	56.5	57.9
06～17 農林業ほか									
中計		992	986	74,341	69,839	42,208	40,347	56.8	57.8
01～17 合計		2,126	2,128	197,536	194,556	111,778	112,531	56.6	57.8
全 国		122,398	121,617	13,185,491	12,954,936	7,771,417	7,700,820	58.9	59.4

(注)「所見のあった者」は、労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く。)の人数である。

第4表-1

令和6年 一般定期健康診断項目別有所見率(その1)

業 種		健診実施 事業場数	受診者数	聴力(1,000Hz)		聴力(4,000Hz)		聴力(その他)		胸部X線検査		喀痰検査		血 圧		貧血検査	
				実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率
製造業	食品製造	133	12,471	11,879	4.3	11,879	6.9	732	0.0	11,525	4.0	5	0.0	12,471	17.7	11,965	10.5
	繊維工業	1	97	73	1.4	73	12.3	24	0.0	73	6.8	0	0.0	97	16.5	97	22.7
	衣服繊維	4	309	293	5.8	293	5.1	15	0.0	305	5.2	0	0.0	309	20.4	309	23.6
	木材木製	4	261	261	2.3	261	9.6	0	0.0	261	2.7	0	0.0	261	29.9	261	13.0
	家具装備	3	232	232	5.6	232	12.5	0	0.0	232	3.0	0	0.0	232	15.9	232	3.9
	パルプ等	11	905	873	2.2	873	7.1	134	0.0	870	5.2	0	0.0	905	17.5	898	8.4
	印刷製本	20	1,318	1,300	2.8	1,300	5.2	158	0.0	1,283	3.2	0	0.0	1,318	18.9	1,304	7.0
	化学工業	66	4,646	4,323	3.1	4,323	7.3	627	0.2	4,085	3.6	80	1.3	4,646	17.3	4,345	8.4
	窯業土石	13	1,353	1,190	1.9	1,190	7.6	294	0.0	1,187	3.5	96	0.0	1,353	24.8	1,301	6.8
	鉄鋼業	2	509	506	3.4	506	8.9	130	0.0	400	9.8	8	25.0	509	14.1	509	12.4
	非鉄金属	16	1,434	1,279	3.4	1,288	10.5	152	0.0	1,300	3.7	16	56.3	1,434	15.3	1,347	6.9
	金属製品	107	7,385	6,800	3.6	6,844	8.8	946	0.3	6,928	3.0	117	0.0	7,385	17.0	6,949	6.8
	一般機器	177	27,575	25,864	2.8	25,884	6.5	2,131	0.6	26,306	3.5	68	5.9	27,575	14.8	26,264	5.9
	電気機器	249	37,869	34,220	2.8	34,162	5.5	5,193	0.1	33,675	3.2	118	13.6	37,869	17.0	34,355	6.5
	輸送機械	72	8,695	8,289	3.1	8,289	9.9	704	0.0	7,775	3.9	59	11.9	8,695	17.3	8,434	7.9
	電気ガス	17	1,758	1,741	2.5	1,741	7.8	86	0.0	1,747	3.8	1	0.0	1,758	15.4	1,758	18.9
	他の製造	31	1,602	1,520	4.7	1,520	9.9	147	1.4	1,477	5.3	57	0.0	1,602	20.8	1,600	10.6
小 計		926	108,419	100,643	3.1	100,658	6.8	11,473	0.2	99,429	3.5	625	6.2	108,419	16.7	101,928	7.5
建設業	鉱業	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	土木工事	20	1,840	1,773	6.1	1,773	13.1	106	0.0	1,812	5.7	0	0.0	1,840	22.4	1,800	9.5
	建築工事	28	2,784	2,678	2.9	2,678	10.8	277	0.4	2,771	4.2	246	0.0	2,784	20.1	2,605	7.1
	他の建設	18	1,397	1,377	4.0	1,377	10.7	177	0.0	1,397	6.4	0	0.0	1,397	21.0	1,397	6.2
	小計	66	6,021	5,828	4.1	5,828	11.4	560	0.2	5,980	5.2	246	0.0	6,021	21.0	5,802	7.6
運輸 交通業	鉄道等	21	1,773	1,772	1.4	1,772	2.1	95	0.0	1,372	2.7	0	0.0	1,773	8.9	1,083	2.4
	道路旅客	22	1,385	1,299	6.4	1,304	15.8	129	0.0	1,036	8.1	95	0.0	1,385	20.0	1,225	8.5
	道路貨物	104	6,849	6,727	3.7	6,727	8.1	357	0.6	6,264	3.6	51	0.0	6,849	19.2	6,635	6.7
	他の運輸	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	147	10,007	9,798	3.7	9,803	8.0	581	0.3	8,672	4.0	146	0.0	10,007	17.5	8,943	6.4
陸上貨物		3	270	270	3.7	270	12.2	0	0.0	270	4.8	0	0.0	270	31.9	270	7.8
その他の業種 (林業含む)	農林業	5	319	318	4.1	318	8.5	26	0.0	318	5.0	0	0.0	319	21.3	318	11.0
	畜産水産	1	54	54	7.4	54	16.7	0	0.0	52	13.5	0	0.0	54	11.1	53	13.2
	商業	336	17,248	16,266	3.6	16,210	4.9	1,150	0.2	16,474	3.4	71	0.0	17,248	20.2	16,535	10.8
	金融広告	42	5,370	4,023	5.6	4,022	6.0	1,356	0.2	5,079	5.0	2	0.0	5,370	16.4	5,362	9.5
	映画演劇	1	15	15	0.0	15	6.7	0	0.0	15	0.0	0	0.0	15	20.0	15	6.7
	通信業	33	3,971	3,208	5.2	3,208	8.0	865	0.2	3,284	8.6	0	0.0	3,971	17.8	3,757	5.3
	教育研究	35	2,901	2,790	2.6	2,790	5.4	182	0.0	2,777	3.3	1	0.0	2,901	18.4	2,924	7.0
	保健衛生	249	21,510	16,742	4.6	16,632	5.9	2,131	0.2	18,137	4.9	223	0.0	21,500	14.9	19,326	11.5
	接客娯楽	120	5,329	5,136	4.5	5,149	7.6	226	0.4	4,882	5.1	52	0.0	5,329	20.8	4,913	10.3
	清掃と畜	40	1,874	1,846	7.2	1,816	15.6	68	14.7	1,838	10.4	6	0.0	1,874	30.1	1,843	11.9
	官公署	2	547	532	3.6	532	6.0	13	0.0	535	1.7	0	0.0	547	17.4	545	12.3
	他の事業	122	10,701	10,163	3.4	10,162	7.3	911	0.7	10,205	5.9	412	4.9	10,701	17.8	10,402	9.0
	小計	986	69,839	61,093	4.2	60,908	6.4	6,928	0.4	63,596	5.0	767	2.6	69,829	18.0	65,993	10.2
合 計		2,128	194,556	177,632	3.6	177,467	6.9	19,542	0.3	177,947	4.1	1,784	3.3	194,546	17.4	182,936	8.4

単位: 受診者数・実施者数(人)、有所見率(%)

第4表-2

令和6年 一般定期健康診断項目別有所見率(その2)

業 種		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		尿検査(糖)		尿検査(蛋白)		心電図検査		有所見者	
		実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	人数	有所見率
製造業	食品製造	12,024	11.2	12,016	30.7	11,994	12.2	12,198	3.4	12,276	2.9	11,203	11.6	7,356	59.0
	繊維工業	97	14.4	97	28.9	97	12.4	97	1.0	97	0.0	97	12.4	56	57.7
	衣服繊維	309	8.7	309	38.8	309	10.7	308	4.2	308	0.6	297	11.1	214	69.3
	木材木製	261	18.4	261	39.8	261	7.7	260	1.2	260	1.9	261	13.0	182	69.7
	家具装備	232	9.1	232	31.0	232	19.4	230	3.0	230	4.3	232	10.3	145	62.5
	パルプ等	898	13.0	898	26.5	898	9.5	895	2.6	895	2.2	867	9.8	498	55.0
	印刷製本	1,304	15.0	1,304	32.9	1,304	16.5	1,300	2.9	1,300	1.5	1,302	11.5	787	59.7
	化学工業	4,312	13.1	4,319	27.4	4,336	10.9	4,592	2.9	4,544	2.3	4,247	10.1	2,500	53.8
	窯業土石	1,309	20.6	1,309	34.3	1,309	10.7	1,351	5.1	1,351	1.5	1,195	9.0	842	62.2
	鉄鋼業	509	22.4	509	32.6	509	9.8	509	2.2	509	1.4	509	9.8	338	66.4
	非鉄金属	1,348	18.4	1,348	26.0	1,348	9.6	1,422	3.9	1,422	1.5	1,285	10.5	790	55.1
	金属製品	6,964	13.3	6,956	28.6	6,946	10.5	7,274	2.9	7,267	1.6	6,773	9.0	4,094	55.4
	一般機器	26,472	15.5	26,463	30.7	26,460	10.7	27,368	3.4	27,380	1.7	25,758	10.5	16,114	58.4
	電気機器	34,442	15.9	34,439	30.9	34,437	12.2	37,607	3.7	37,605	2.5	33,588	10.3	21,723	57.4
	輸送機械	8,435	16.8	8,435	30.5	8,435	10.9	8,577	3.3	8,629	2.2	8,072	9.8	5,368	61.7
	電気ガス	1,758	19.5	1,758	36.0	1,758	16.7	1,757	2.7	1,757	2.5	1,758	9.2	1,179	67.1
	他の製造	1,600	15.9	1,600	31.9	1,600	13.8	1,553	3.3	1,559	2.0	1,492	12.5	1,023	63.9
小 計		102,274	15.2	102,253	30.6	102,233	11.6	107,298	3.4	107,389	2.2	98,936	10.4	63,209	58.3
建設業	鉱業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	土木工事	1,800	21.4	1,800	29.6	1,800	17.2	1,836	4.0	1,836	2.3	1,794	13.4	1,219	66.3
	建築工事	2,696	17.8	2,696	27.8	2,696	13.2	2,780	4.4	2,780	2.4	2,681	9.9	1,738	62.4
	他の建設	1,397	18.4	1,397	27.7	1,397	16.1	1,395	4.0	1,395	3.2	1,397	11.5	816	58.4
	小計	5,893	19.0	5,893	28.3	5,893	15.1	6,011	4.2	6,011	2.6	5,872	11.3	3,773	62.7
運輸交通業	鉄道等	1,082	9.6	1,082	24.4	1,082	8.9	1,772	2.0	1,772	1.6	1,370	3.3	501	28.3
	道路旅客	1,228	18.2	1,227	26.0	1,228	20.0	1,379	8.3	1,378	6.2	1,228	12.0	856	61.8
	道路貨物	6,699	13.8	6,698	26.9	6,698	12.8	6,830	4.7	6,838	3.0	6,629	10.1	3,652	53.3
	他の運輸	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	9,009	13.9	9,007	26.5	9,008	13.3	9,981	4.7	9,988	3.2	9,227	9.3	5,009	50.1
陸上貨物		270	17.4	270	33.7	269	12.6	270	5.9	270	1.9	270	7.8	193	71.5
その他の業種 (林業含む)	農林業	318	11.6	318	29.6	318	13.5	318	2.2	318	3.5	319	9.7	209	65.5
	畜産水産	53	13.2	53	26.4	53	17.0	54	13.0	54	5.6	27	7.4	32	59.3
	商業	16,570	11.5	16,582	27.8	16,582	11.9	17,126	4.3	17,132	2.0	16,335	11.2	9,816	56.9
	金融広告	5,367	10.5	5,367	32.2	5,367	13.7	5,332	2.9	5,333	1.8	4,661	14.0	3,030	56.4
	映画演劇	15	20.0	15	40.0	15	0.0	15	0.0	15	6.7	15	0.0	10	66.7
	通信業	3,757	18.0	3,757	36.1	3,757	11.7	3,974	4.2	3,974	3.9	3,201	13.5	2,484	62.6
	教育研究	2,917	15.1	2,917	34.0	2,917	19.3	2,946	3.0	2,946	2.0	2,743	10.0	1,748	60.3
	保健衛生	19,195	13.5	19,197	28.8	19,133	13.2	21,207	3.2	21,076	5.4	15,575	11.2	11,864	55.2
	接客娯楽	4,965	14.7	4,965	32.4	4,970	17.0	5,167	4.7	5,189	3.8	4,937	11.5	3,250	61.0
	清掃と畜	1,853	17.2	1,852	40.1	1,853	21.6	1,871	6.2	1,871	4.8	1,794	16.1	1,433	76.5
	官公署	545	20.6	545	20.6	545	11.0	545	3.1	545	1.8	545	19.3	345	63.1
	他の事業	10,424	14.8	10,424	28.0	10,388	12.7	10,623	5.1	10,483	3.5	10,327	9.5	6,126	57.2
	小計	65,979	13.5	65,992	29.9	65,898	13.5	69,178	4.0	68,936	3.6	60,479	11.4	40,347	57.8
合 計		183,425	14.6	183,415	30.1	183,301	12.5	192,738	3.7	192,594	2.8	174,784	10.7	112,531	57.8

単位:実施者数(人)、有所見率(%)

第5表

特殊健康診断実施状況の推移(過去30年間)

区分 年	実施事業場数	受診労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
平成7	2,421	33,633	1,452	4.3
8	2,490	35,063	1,673	4.8
9	2,519	35,121	1,426	4.1
10	2,567	35,181	1,748	5.0
11	2,526	35,418	1,780	5.0
12	2,477	36,413	2,564	7.0
13	2,399	35,066	2,423	6.9
14	2,274	32,051	1,580	4.9
15	2,317	32,584	1,568	4.8
16	2,291	31,041	1,691	5.4
17	2,288	30,298	1,579	5.2
18	2,280	31,757	1,689	5.3
19	2,119	32,293	1,747	5.4
20	2,201	35,918	2,110	5.9
21	2,053	29,501	1,691	5.7
22	2,169	32,110	1,898	5.9
23	2,207	31,890	1,801	5.6
24	2,205	32,515	1,971	6.1
25	2,360	33,572	1,824	5.4
26	2,751	37,840	2,074	5.5
27	3,151	41,740	2,187	5.2
28	3,322	43,812	2,209	5.0
29	3,343	42,892	2,392	5.6
30	3,488	45,938	2,673	5.8
令和元年	3,494	45,280	2,628	5.8
2	3,469	46,924	2,767	5.9
3	3,716	47,748	2,709	5.7
4	3,842	49,034	2,645	5.4
5	4,119	52,753	2,895	5.5
6	3,968	52,328	3,203	6.1

(注)資料:特殊健康診断実施状況報告

第6表-1

特殊健康診断実施結果(令和6年)(その1)

1 法定の健康診断

区 分 対象作業		実施 事業場数	受診 労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
有機溶剤		1,066	15,149	373	2.5
鉛		148	1,712	12	0.7
電離放射線		139	2,540	200	7.9
除染等電離放射線		0	0	0	
特定化学物質	ベンジジン	0	0	0	
	ベンゼン含有ゴムのり	2	8	0	0.0
	塩素化ビフェニル	3	16	0	0.0
	アクリルアミド	1	5	3	60.0
	アクリロニトリル	1	9	0	0.0
	塩化ビニル	1	9	0	0.0
	塩素	17	174	3	1.7
	カドミウム	6	18	3	16.7
	クロム酸	64	543	15	2.8
	クロロメチルメチルエーテル	0	0	0	
	五酸化バナジウム	0	0	0	
	コールタール	16	469	0	0.0
	シアン化カリウム	48	1,097	5	0.5
	シアン化水素	10	89	0	0.0
	シアン化ナトリウム	33	652	2	0.3
	3・3'-ジクロロ-4・4'-ジアミノジフェニルメタン	6	33	8	24.2
	重クロム酸	4	14	1	7.1
	水銀	6	30	1	3.3
	トリレンジイソシアネート	4	43	0	0.0
	ニッケルカルボニル	1	38	0	0.0
	ニトログリコール	0	0	0	
	弗化水素	63	832	8	1.0
	ベンゼン	11	34	1	2.9
	ペンタクロロフェノール	0	0	0	
	マンガン	88	1,525	20	1.3
	沃化メチル	0	0	0	
	硫化水素	8	141	0	0.0
	硫酸ジメチル	1	9	2	22.2
	ニッケル化合物	50	842	5	0.6
	砒素	5	116	0	0.0
	酸化プロピレン	2	2	0	0.0
	1・1-ジメチルヒドラジン	0	0	0	
	インジウム化合物	7	18	0	0.0
	エチルベンゼン	457	3,920	65	1.7
	コバルト及びその無機化合物	119	1,868	19	1.0
	1・2-ジクロロプロパン	2	14	0	0.0
	クロロホルム	30	157	24	15.3
	四塩化炭素	4	22	2	9.1
	1・4-ジオキサン	6	63	8	12.7
	1・2-ジクロロエタン	9	42	11	26.2
	ジクロロメタン	114	1,213	122	10.1
	ジメチル-2・2-ジクロロビニルホスフェイト	0	0	0	
	スチレン	104	555	119	21.4
	1・1・2・2-テトラクロロエタン	1	5	5	100.0
	テトラクロロエチレン	12	35	10	28.6
	トリクロロエチレン	70	434	37	8.5
	メチルイソブチルケトン	242	1,630	51	3.1
	ナフタレン	47	558	7	1.3
	リフラクトリーセラミックファイバー	18	530	6	1.1
	オルト-トルイジン	0	0	0	
	三酸化ニアンチモン	17	147	5	3.4
	溶接ヒューム	395	3,067	66	2.2
	小計	2,105	21,026	634	3.0
石綿		16	173	1	0.6
高気圧作業		0	0	0	
合計		3,474	40,600	1,220	3.0

第6表-2

特殊健康診断実施結果(令和6年)(その2)

2 指導勧奨による健康診断

対象作業 区 分	実施 事業場数	受診 労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (A/B×100) (%)
紫外線・赤外線	116	1,581	74	4.7
騒音	224	6,735	1,438	21.4
マンガン等(塩基性酸化マンガンに限る)	1	2	0	0.0
有機りん剤	1	40	0	0.0
亜硫酸ガス	2	9	1	11.1
二 硫 化 炭 素(有機則適用以外のものに限る。)	0	0	0	
ベンゼンのニトロアミド化合物	1	22	10	45.5
砒素(特化則適用以外)	1	20	0	0.0
超音波溶着機	6	38	2	5.3
メチレンジフェニルイソシアネート	3	37	3	8.1
フェザーミル等	0	0	0	
都市ガス配管工事	0	0	0	
チェーンソー	21	305	55	18.0
チェーンソー以外の振動工具	17	325	52	16.0
重量物	13	613	49	8.0
引金付工具	5	101	0	0.0
VDT作業	43	1,402	285	20.3
レーザー機器	40	365	14	3.8
合計	494	11,595	1,983	17.1

1 法定の健康診断	合 計	3,968	52,195	3,203	6.1
2 指導勧奨による健康診断					

第7表

健康管理手帳(労働安全衛生法関係)新規交付状況(過去10年間)

	粉じん(管理2)	粉じん(管理3)	石 綿	合 計
平 成 2 7 年	1	0	26	27
平 成 2 8 年	8	0	22	30
平 成 2 9 年	1	0	10	11
平 成 3 0 年	1	0	10	11
平成31年・令和元年	5	1	10	16
令 和 2 年	1	0	14	15
令 和 3 年	0	1	13	14
令 和 4 年	4	1	16	21
令 和 5 年	2	0	8	10
令 和 6 年	2	0	6	8

※労働安全衛生法関係の健康管理手帳は、「ベンジジン等(ベンジジン、ペーターナフチルアミン、ジアニシジン)」「じん肺(粉じん)」「クロム酸等」「三酸化砒素」「コールタール」「ビス(クロロメチル)エーテル」「ベリリウム」「ベンゾトリクロリド」「塩化ビニル」「石綿」「1,2-ジクロロプロパン」の業務種類があるが、「じん肺(粉じん)」「石綿」以外の業務種類に係る健康管理手帳について、過去10年間長野労働局において新規交付した実績は無い。

第8表

じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移(過去30年間)

区分 年	じん肺健康診断実施状況			管 理 区 分 決 定 状 況				有所見者数 (B) ①+②+③	有 所 見 率 (B/A×100) (%)
	粉じん作業を 有する 事業場数	粉じん作業 従事労働者数 (人)	じん肺健診 受診者数 (A) (人)	所見なし	有 所 見 者 (人)				
				管理1	管理2	管理3	管理4		
					①	②	③		
平成6	1,426	9,814	5,749	(1) 53	(26) 623	(32) 33	(7) 0	(65) 656	11.41
7	1,470	9,400	5,161	(3) 45	(23) 420	(23) 27	(4) 1	(50) 448	8.68
8	1,498	10,659	6,292	(2) 47	(35) 435	(45) 29	(17) 0	(97) 464	7.37
9	1,431	10,063	5,601	(6) 13	(44) 378	(23) 26	(8) 1	(75) 405	7.23
10	1,336	9,790	5,321	(2) 28	(47) 374	(20) 19	(3) 0	(70) 393	7.39
11	1,278	9,397	5,220	(7) 14	(72) 359	(33) 21	(7) 1	(112) 381	7.30
12	1,238	9,122	5,261	(3) 4	(25) 245	(24) 15	(7) 0	(56) 260	4.94
13	1,203	8,641	4,743	(13) 15	(59) 227	(23) 10	(4) 1	(86) 238	5.02
14	1,177	9,281	5,291	(9) 23	(58) 140	(16) 8	(3) 0	(77) 148	2.80
15	1,120	8,917	4,892	(15) 28	(42) 122	(12) 8	(6) 0	(60) 130	2.66
16	1,086	8,116	4,644	(26) 9	(49) 99	(14) 4	(4) 0	(67) 103	2.22
17	1,095	9,717	5,008	(15) 13	(45) 100	(11) 5	(8) 0	(64) 105	2.10
18	1,042	7,431	4,276	(12) 3	(75) 88	(11) 3	(4) 0	(90) 91	2.13
19	1,096	10,715	5,635	(9) 8	(35) 93	(2) 4	(4) 2	(41) 99	1.76
20	1,078	7,984	3,807	(11) 5	(48) 65	(11) 4	(3) 0	(62) 69	1.81
21	1,089	9,876	4,610	(6) 2	(30) 49	(9) 3	(3) 0	(42) 52	1.13
22	1,033	8,417	4,448	(6) 4	(29) 50	(11) 4	(4) 0	(44) 54	1.21
23	1,049	9,487	4,490	(2) 1	(22) 33	(10) 1	(4) 1	(36) 35	0.78
24	1,093	9,229	4,514	(4) 1	(20) 39	(6) 1	(1) 1	(27) 41	0.91
25	1,117	9,894	5,034	(6) 2	(19) 21	(8) 2	(1) 1	(28) 24	0.48
26	1,125	10,227	4,880	(9) 0	(16) 20	(6) 4	(3) 1	(25) 25	0.51
27	1,112	10,075	4,547	(4) 2	(14) 14	(6) 3	(4) 1	(24) 18	0.40
28	1,074	8,936	4,657	(4) 2	(14) 16	(9) 3	(3) 0	(26) 19	0.41
29	1,119	10,712	5,033	(7) 3	(6) 6	(1) 1	(2) 0	(9) 7	0.14
令和元	1,121	9,560	4,432	(4) 3	(10) 6	(6) 1	(1) 0	(17) 7	0.16
2	1,140	10,391	5,245	(0) 0	(11) 4	(6) 0	(0) 0	(17) 4	0.08
3	1,185	12,198	5,464	(3) 0	(8) 6	(5) 0	(0) 0	(13) 6	0.11
4	1,241	11,926	5,173	(2) 1	(8) 5	(4) 0	(0) 0	(12) 5	0.10
5	1,275	12,753	6,303	(1) 11	(1) 7	(0) 1	(2) 0	(3) 8	0.13
6	1,284	12,146	6,006	(5) 6	(0) 3	(0) 0	(2) 0	(2) 3	0.05

1.資料:「じん肺健康診断実施状況」は、「じん肺健康管理実施状況報告」による。
2.管理1は局に提出のあったもので、じん肺診査の結果管理1と決定したもの。
3.カッコ書き数字は随時申請で外数である。

第9表

令和6年 心理的な負担の程度を把握するための検査
(いわゆるストレスチェック)実施状況

区分 業種		検査実施 事業場数	検査を受けた労働者数(人)				面接指導を受けた労働者数(人)				集団分析の実施 の有無	
			検査実施者			合 計	指導実施者			合 計	分析あり 事業場数	分析なし 事業場数
			専任産業医 等	専属医師等	非専属医師 等		専任産業医 等	専属医師等	非専属医師 等			
長野県	製造業	750	58,531	8,167	39,825	106,523	383	13	33	429	637	113
	建設業	69	2,717	263	3,255	6,235	12	2	2	16	60	9
	運輸・ 貨物取扱業	127	2,163	1,863	5,129	9,155	32	1	5	38	115	12
	その他の 業種	1,024	42,110	9,587	27,098	78,795	295	16	36	347	930	94
	合 計	1,970	105,521	19,880	75,307	200,708	722	32	76	830	1,742	228
全 国		119,943	7,831,377	1,216,406	4,807,438	13,855,221	53,700	3,703	8,170	65,573	105,540	14,403

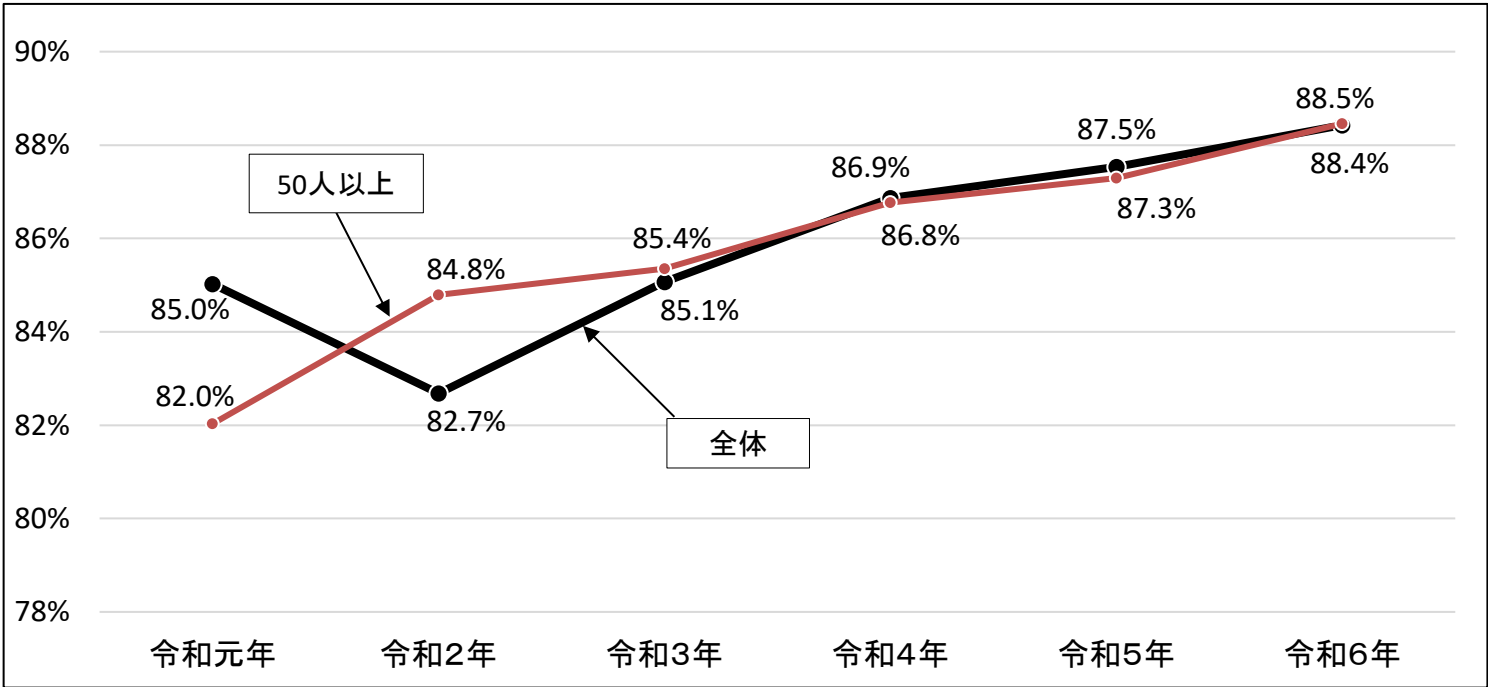
(注) 資料: 心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。規模50人未満の事業場実施分も含む。

第10表・第3図

長野県におけるストレスチェック集団分析実施事業場割合の推移

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
検査実施事業場 数	全体	1963	2021	1714	1782	1909	1970
	50人以上	1942	1696	1502	1542	1692	1733
集団分析あり 事業場数	全体	1669	1671	1458	1548	1671	1742
	50人以上	1593	1438	1282	1338	1477	1533
集団分析あり 事業場割合 (%)	全体	85.0%	82.7%	85.1%	86.9%	87.5%	88.4%
	50人以上	82.0%	84.8%	85.4%	86.8%	87.3%	88.5%

(注): 資料: 心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。それぞれ上欄は規模50人未満の事業場実施分も含み、下欄は規模50人以上の事業場の状況(事業場数は下欄は上欄の内数)。



第11表

令和6年 工業中毒等特殊疾病事例

整理番号	発生月	業種	災害発生状況の概要
1	3月	製造業	苛性ソーダを溶かした熱湯を用いて洗浄作業をしていたところ、当該熱湯が被災者の手にかかり化学熱傷を負った。
2	4月	病院	清掃用タオルの漂白のため漂白剤をバケツに注いでいたところ、漂白剤が飛び散って被災者の目に入った。
3	4月	社会福祉施設	アルコールアレルギーを持つ被災者の隣で同僚が机上のアルコール消毒を行っていたところ、被災者が頭痛等を発症し、病院で、アナフィラキシーと診断された。
4	4月	その他の事業	屋内で電動工具を使用するため、屋外に設置した発電機を稼働させていたところ、発電機の排気ガスが通風口を通して屋内に充満し、一酸化炭素中毒を発症した。
5	5月	ビルメンテナンス業	床のワックス剥離作業をしていた被災者が休憩のため腰かけた場所に、ワックス剥離剤が漏れ出ていたことで、臀部に化学熱傷を負った。
6	5月	製造業	硝酸溶液の入った薬品槽の蓋を開けたところ、蓋の内側に付着していた硝酸溶液が被災者の足にかかって化学熱傷を負った。
7	5月	製造業	ニッケル溶液を流したホースの片付け作業をしていたところ、ホース内に残留していたニッケル溶液が飛び散り被災者の顔にかかった。
8	6月	その他の事業	被災者が着用していたゴム手袋に穴が開いており、作業に使用していたシンナーが手袋内部に入り化学熱傷を負った。
9	6月	ビルメンテナンス業	洗剤を用いて清掃作業を行っていたところ、被災者の額に飛んだ洗剤が顔を伝って目に流れて入った。
10	6月	製造業	前日に有機溶剤含有塗料による床の塗装が行われた室内において、作業していた被災者が、頭痛等を発症した。
11	7月	農業	漆の木の伐採作業中に漆にかぶれた。
12	7月	製造業	酢酸エチルを含有する接着剤を使用する機械の周囲で作業していた被災者が体調不良となり、病院で薬剤性肺障害と診断された。
13	8月	商業	フォークリフトのマストとフォーク爪の間に硝酸が入った容器が挟まっていることに気が付かず被災者がフォークリフトを操作したところ、容器が破裂し中の硝酸が被災者にかかり熱傷を負った。
14	8月	建設業	道路脇の伐木作業中に漆にかぶれた。
15	12月	商業	灯油をローリー車に積込む作業をしていたところ、機械の操作を誤り灯油が噴出して被災者の身体にかかり灯油皮膚炎を負った。
16	12月	建設業	建物改修工事中、屋内で内燃機関を有する切断機を使用していたところ、屋内の換気が不十分であったことで一酸化炭素中毒を発症した。

(休業4日未満、不休災害を含む)

第12表・第4図 長野県の熱中症による労働災害発生状況

データ出所:労働者死傷病報告を長野労働局労働基準部健康安全課で分析したもの(令和7年4月集計)

■ 熱中症の業種別・年別発生状況(休業4日以上、単位:人)

業種	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	合計
製造業	(1) 3	1			3	2	1		2	2	(1) 14
建設業		5		5		1	1	3	5	3	23
道路貨物運送業	1	1	2	2			2	2	1	1	12
林業					1						1
商業				(1) 2	1	1		(1) 2	4		(2) 10
飲食店											
ビルメンテナンス業					1	1		1	1	1	5
警備業			1	5	(1) 1	1	1	1		3	(1) 13
その他	1			5	6	4	4	3	(1) 3	3	(1) 29
合計	(1) 5	7	3	(1) 19	(1) 13	10	9	(1) 12	(1) 16	13	(5) 107

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の被災者年代別発生状況(平成27年～令和6年)

被災者年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
熱中症(人)	3	(1) 13	(1) 16	18	(1) 28	(1) 22	(1) 7	(5) 107

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の月別発生状況(平成27年～令和6年)

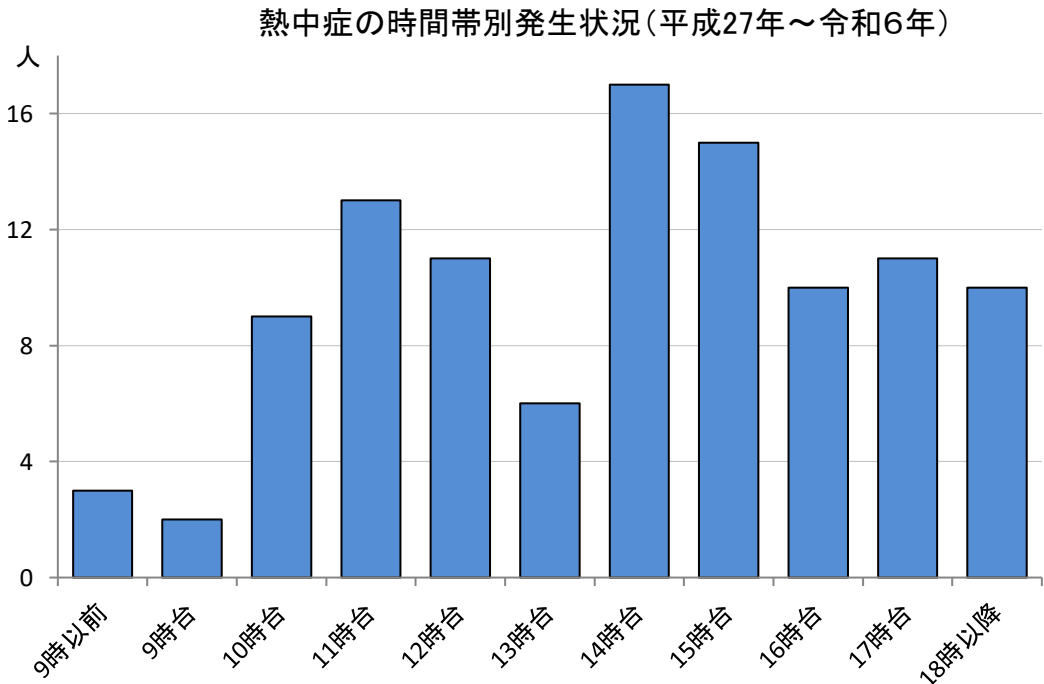
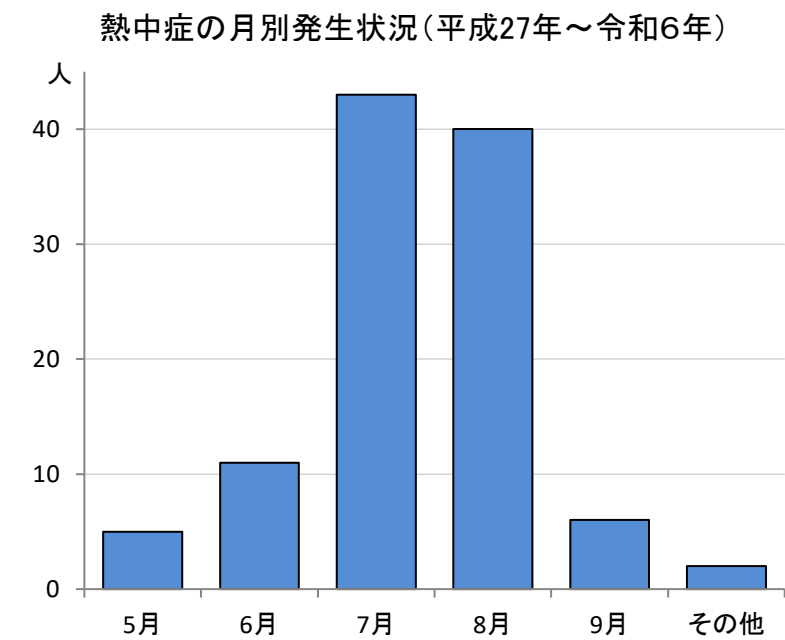
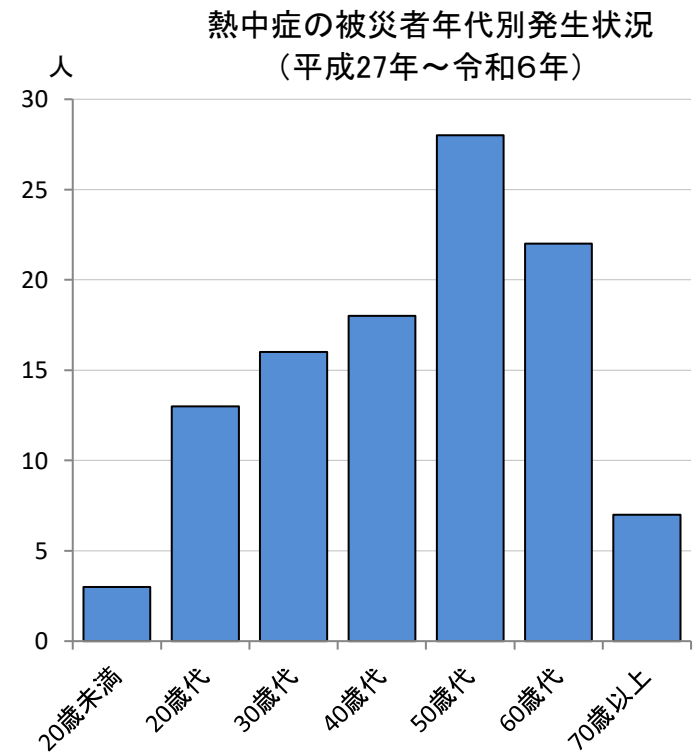
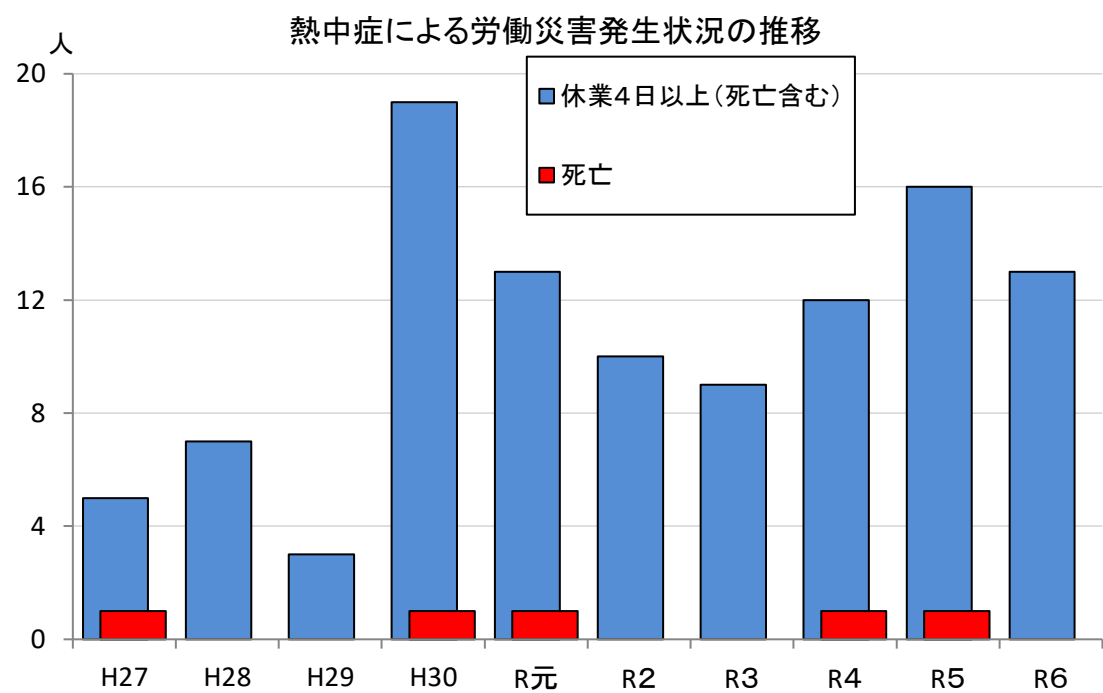
月	5月	6月	7月	8月	9月	その他	合計
熱中症(人)	5	11	(2) 43	(3) 40	6	2	(5) 107

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の時間帯別発生状況(平成27年～令和6年)

時間帯	9時以前	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	合計
熱中症(人)	3	2	9	13	(1) 11	(1) 6	(1) 17	15	10	(1) 11	(1) 10	(5) 107

※ ()内は死亡者数で内数



第13表 長野県の熱中症による災害事例（平成27年～令和6年）

■ 熱中症による死亡災害事例（全件）

発生年・業種	発生状況の概要
平成27年 製造業	食品残渣等廃棄物から有機肥料を製造する事業場において、廃棄物の入ったフレコンバックを車両積載形トラッククレーンの荷台から下ろす作業を行っていた被災者が意識を失い倒れた。
平成30年 商業	真夏の屋外で露店を営業するため、午前中から調理器具の準備や仕込等の作業を行い、また、同所において、夕方からの営業で接客等の作業を行い熱中症を発症した。
令和元年 警備業	道路上で交通誘導業務を行っていたところ、熱中症を発症した。
令和4年 商業	顧客企業の農業用ハウス内において14時頃から被災者一人で自動カーテンのワイヤー交換作業を行っていたところ、意識を失い倒れた。17時頃に顧客関係者に発見され、救急搬送されたが、熱中症疑いで死亡が確認された。
令和5年 農業	朝方から水田脇の畦道の草刈り作業をしていたところ、作業現場で倒れているところを、通りがかった付近の住民に発見され、その後、救急車で病院へ救急搬送されたものの、亡くなった。

■ 熱中症による死亡災害事例（参考：長野県内への出張中の労働者にかかるもの）

発生年・業種	発生状況の概要
令和3年 商業	屋根に設置された太陽光パネルの点検清掃作業等を行っていたところ、倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが死亡したもの。

■ 熱中症による主な休業災害事例

業種	発生状況の概要
製造業	エアコンが稼働している工場内において、電気配線の組立作業を行っていたが、室温が30度ほどになり、午後3時ころから頭痛、吐き気の症状が発生し、終業後も体調が戻らないため、病院を受診した。
製造業	製造ラインで部品を取り付ける作業を屈んで行っていたところ、座り込み、そのまま倒れた。意識を失い、けいれんが発生していたため救急車で搬送された。
製造業	製造ライン（めっき槽）のメンテナンス作業中、合羽、マスクを装着し作業を行っていたところ、手指の痙攣が発生し、病院を受診した。
建設業	個人住宅の現場において、基礎周りを70cm程度手掘りで掘削していたところ、めまいや吐き気が出て、仕事が出来なくなった。
建設業	住宅基礎工事現場において、コンクリート圧送作業に従事していたところ、手足のしびれとめまいのため、動けなくなり、救急車で病院へ搬送された。
建設業	建設工事現場で縁石の敷設作業に従事していたところ、手足が痙攣し、その場から立ち上がれなくなってしまった。翌日、病院を受診したところ熱中症と診断された。
道路貨物運送業	構内で仕分け作業中、体調が悪くなり、休憩をとっていたが、立ち上がるができなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	客先構内で集荷業務を行っていた際、全身が痙攣し、動けなくなったため、救急車で病院へ搬送された。
林業	草刈作業中に、草を集める作業を行っていたところ、具合が悪くなり座り込んだ。その後入院となった。
ビルメンテナンス業	ホテルの客室清掃作業中、水分補給が不足していたため、ホテルフロア内にて具合が悪くなり自力で歩けなくなったことから、救急車により病院へ搬送された。
保健衛生業	保育園敷地内の屋外プールの清掃作業中、吐き気がし、屋内にて休んでいたものの体調が回復しなかったため、病院を受診した。
保健衛生業（派遣業）	派遣先の病院にて勤務中、浴室で患者の入浴介助中、患者の腕を支えようとした際、足に力が入らなくなり、座り込んでしまった。応急処置をしたが、改善がないため、救急車で病院に搬送された。
公園・遊園地	炎天下でグラウンドの散水作業中、長時間の作業後、頭痛を訴え、嘔吐した。
警備業	警備業務中、他の従業員から様子がおかしいとの連絡が入り、当人へ連絡したところ、呂律が回らず、休憩を取らせたが、回復がなかったため、救急車で病院に搬送された。
警備業	交通誘導業務を行っていたところ、頭痛を発症し、我慢して業務を継続し、帰宅後、頭痛が悪化し、嘔吐と下痢を発症し、動けなくなったため、病院を受診した。